

(一社)岐阜県臨床検査技師会
会 長 浅野 敦 <公印略>
染色体遺伝子部門長 後藤 孝司
臨床微生物部門長 桂川 晃一

令和3年度 岐臨技研修会のご案内

<染色体遺伝子部門、臨床微生物部門合同研修会>

日 時 : 令和4年 3月 6日 (日) 14:00 ~ 15:30
開催方式: LIVE 配信 (Zoom)

内 容 :

14:00~14:15

「令和3年度 臨床微生物部門 精度管理報告会」

講師:株式会社メディック 長島 敏之先生

※精度管理報告会の資料はJAMTQCにて閲覧、印刷が可能です。

14:15~14:30

「(仮)二級臨床検査士(微生物)試験報告会」

講師:中濃厚生病院 磯部 里紗先生

【特別講演】

14:30~15:30

「これで分かる!耐性機構の見分け方~腸内細菌目細菌編~」

講師:岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座

特任教授 手塚 宜行先生

参加申込 : 日臨技 HP 会員専用サイト > 講習会等の参加申請~ > 事前申込みよりお申し込みをお願いします。

参加方法 : LIVE 配信は開催1週間前にZoomID・PWを配信します。

参加確認 : Zoomの案内とともに送付されるアンケート(レポート)フォームへの回答(研修会終了後1週間以内)、事前参加申込登録、Zoomへの参加履歴をもって参加といたします。

参加費 : 無料

この研修会は日臨技生涯教育制度に事前登録したもので、研修会参加者には基礎教科20点として認定されます。研修会終了後3週間以降に各自で参加登録及び点数の確認をしていただくようお願いします。

連絡先 中濃厚生病院 検査科 桂川晃一 <https://lin.ee/vGOaykl>

＊＊ 外部講師における講演依頼の目的 ＊＊

昨今の新興感染症及び再興感染症の検査意識の高まりによって、感染症発生岐阜県内の微生物検査担当技師が増え、若手技師のための微生物検査レクチャー内容の研修会要望があがっています。その中でも身近な耐性菌ならびに注意すべき耐性菌の検査に対する歓心が高く、日常業務に直結する検査法についての学ぶ機会が求められています。

岐阜県内では脅威となるようなカルバペネマーゼ産生腸内細菌科 (CPE) の発生が少なく、経験する機械があまりないので、耐性菌についての疫学的情報、耐性菌検査法、遺伝子学的特性など広く学ぶ必要があります。

手塚先生は耐性菌分野について、分子疫学的リスクファクター、特に身近な検出菌である *Enterobacter* の遺伝子学的解析など多数の研究をされておられます。また、岐阜県内で検出られる CPE を中心とした耐性菌に関しても先生の方針であることからご依頼しました。今回のご講演によって県内耐性菌の早期検出や検出漏れのないスクリーニング法確立に貢献されると考えます。